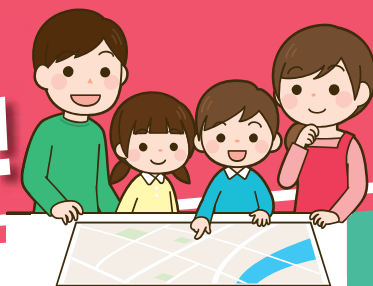


災害発生時に慌てないよう 個別避難計画をつくりましょう!



京都市では、避難行動要支援者の一人ひとりの
「個別避難計画」の作成に取り組みます。

Q 個別避難計画って何？

A 災害時の避難に支援が必要な方(避難行動要支援者)一人ひとりに合わせた避難支援に関する計画のことです。
災害時に配慮が必要なことや避難の方法などを考えることで、ご自身やご家族が災害時にとるべき行動をイメージすることができます。

Q どうやって作成するの？



A 要介護3以上、又は障害支援区分4以上の方で、大雨による浸水や土砂災害の発生のおそれのある地域等(ハザードマップについては、裏面参照)にお住まいの方は、ケアマネジャー等が説明のうえ、作成をお手伝いします。(要介護や障害支援区分の高い方から順次作成します。)
その他、高齢や障害等の理由により、避難時に支援が必要な方は、ご本人やご家族等で計画を作成しましょう。
計画の様式などは、ホームページ(京都市情報館)で公開しています。

京都市 個別避難計画



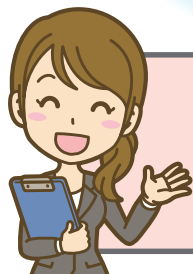
どんなもの？



何だか難しそう・・・



作成したら
どうなるの？



「個別避難計画」という言葉に聞きなじみのない方も多いと思います。作成にあたって、重要なポイントを裏面にまとめていますので、ご覧ください。

作成にあたってのポイント

1 お住まいの地域のことを知りましょう!

京都市では、大雨によって川が氾濫した際の浸水想定区域や土砂災害(特別)警戒区域を示したハザードマップを作成しています。

ホームページ(京都市防災ポータルサイト)や各区役所・支所に配布しているハザードマップをご覧ください。

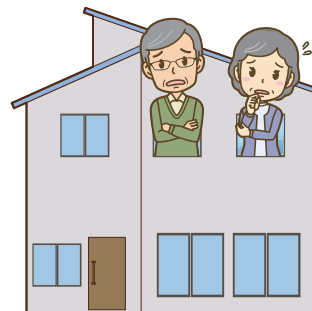
京都市 Web版ハザードマップ



2 避難先を考えましょう!

①で確認したお住まいの地域の危険性やご自身のお身体の状態を考え、ご自身にあった避難先を考えましょう。

例)浸水の危険性が低いので、自宅の上階に避難する。
頼れる親戚の家に早めに避難する。
家族などと一緒に、地域の避難所に避難する。



3 災害時に支援を求める方法を考えましょう!

避難の際に、支援が必要な場合は、家族や親戚の方をはじめ、近所の方々との関係性などを活かして、支援を求める人を決めておきましょう。

必要な支援は、お住まいの地域のハザードリスクやお身体の状態などによって変わります。

4 具体的な避難を想定しましょう!



豪雨災害時には、停電が発生する等して暗くなったり、道路の冠水など、いつも通っていた道でも、通りづらくなることが考えられます。

避難支援者の連絡方法を含め、①で確認したハザードマップを参考に、災害時の具体的な避難の方法を考えましょう。



5 災害時に必要な準備をしましょう!

災害が発生してパニックにならないよう、あらかじめ災害をイメージして、いつも飲んでおられるお薬など、自分に必要なものをすぐに持ち出せるようにまとめておくなど、災害時の行動を考えておきましょう。

日頃の
備蓄も
大事!



お一人おひとりの状況に応じた①から⑤を盛り込んだものが、個別避難計画です。普段から災害が起こった時のことをイメージし、災害に備えて準備しておくことが重要です。災害時に慌てることなく避難行動につなげられるよう、個別避難計画をつくりましょう。

問合せ先

京都市保健福祉局保健福祉部保健福祉総務課
TEL:075-222-3366 FAX:075-222-3386



京都市
CITY OF KYOTO



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



地域コミュニティ活性化

保健福祉局保健福祉部保健福祉総務課
京都市印刷物 第044308号
発行：令和4年7月